

2025 vol.1

タウントーク



翼に夢を乗せて
次の100年へ

”2026年千歳市空港開港100年：
その歴史や意義を考えよう！”



写真：JR北海道千歳駅前空間

QRコード：千歳市空港開港100年記念サイト

2025年度 第1回タウントーク

「2026年千歳市空港開港100年：
その歴史や意義を考えよう！」

*日時：5月28日（水）

18時～19時30分

*会場：ちとせまちライブラリー
オンライン同時開催

*ゲストスピーカー

○中村 充 氏

千歳市企画部主幹
(空港開港100年記念担当)

- タウントーク担当 -

○曾我 聡起

公立千歳科学技術大学 理工学部
情報システム工学科 教授

○川名 典人

公立千歳科学技術大学
大学院客員教授

2025年第1回タウントークのテーマは「2026年千歳市空港開港100年：その歴史や意義を考えよう」です。「北海」第1号が千歳に初めて着陸したのが99年前です。記念すべき100年に向けて千歳市ではロゴマークやキャッチフレーズを活用した啓発活動を行っています。また、記念事業の検討も進めています。

豊かな自然に恵まれた千歳市は石狩平野南端に位置し、札幌市ま

で40km、港のある苫小牧市には約30分で車や電車で行くことが可能です。また、国内で最も低い分水嶺エリアが飛行場の付近にあるため、昔から空港周辺は交通の要所として人の往来や商いが盛んでした。現在280社以上の企業が工業団地に立地しています。

今回のタウントークでは、千歳市企画部主幹、空港開港100年記念担当の中村充氏が空港開港100年に関わる活動や記念事業に

関して説明します。また、公立千歳科学技術大学の曾我教授からは、千歳周辺の自然や縄文時代以降の歴史の視点から、空港開港100年記念行事として地域連携センターのイベントである「今も昔も交通の要所」についてお話しします。

第1回のタウントークも示唆に富む話題がいっぱいです。是非ご参加ください。

○次回のタウントーク
9月24日（水）

*お問い合わせ

renkei@photon.chitose.ac.jp

○タウントークはオンラインでも実施いたします。下記のサイトか右側のQRコードから情報を取得してください。

<https://snc.chitose.ac.jp/snc/towntalk.html>

